

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第59回 ビジネス文書実務検定試験 (29. 11. 26)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第59回 ビジネス文書実務検定試験 (29. 11. 26)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

商品やポスターなどに、格子状の四角形のマークを見かけること	30
がある。これは、QRコードと呼ばれており、白と黒の四角い細かな点で構成されている。多くの情報量を扱えたり、かざした瞬間に	60
正確な読み取りができたりする特徴がある。	90
	111
最初に採用した企業は、生産や出荷、伝票発行などの管理に利用	141
した。その後、携帯電話でも読み取りができるようになり、私たちの	171
生活に浸透した。また、開発した日本の企業が仕様を無料で公開	201
したことで、国内だけでなく世界中に普及している。	226
海外に渡ったこの技術は、日本とは異なる発展を遂げている。例	256
えば、中国では代金決済の手段として用いられている。購入者は、	286
スマートフォンのカメラを使い、QRコードを読み取るだけで簡単	316
に支払いができる。	326
国内でも同様の決済システムを導入する企業が増えており、新た	356
な決済の方法として注目されている。QRコードのほかにも日本の	386
企業が生み出す技術は、世界各国からの評価が高く、信頼を得てい	416
る。今後もアイデアや技術をもとに、日本が世界の産業をリードし	446
続けていくことに期待したい。	460